

平成 26 年度

JA 人づくり研究会・総会 資料

平成 26 年 6 月 19 日
午前 10 時 30 分～

東京・大手町・JA ビル 27 階 大会議室

平成 26 年度 JA 人づくり研究会・総会 次第

1. 開会

2. 挨拶

3. 議長選任

4. 議事録署名人・書記

5. 議事

平成 25 年度 活動報告(案)・収支決算。

平成 25 年度監査報告。

平成 26 年度 活動計画(案)・収支予算(案)。

役員の選任

6. 閉会

平成 25 年度 活動報告(案)

1. 研究会の開催

会員からの要望および、JAにおける課題を考慮し、以下の研究会を開催した。

第 17 回 「JAの組織、機能、人材育成とその配置、そして必勝体制はいかにあるべきか」
(25 年 6/20)

第 18 回 「失敗しない六次産業化への取り組みをどう進めるか」(25 年 12/5)

第 19 回 農業政策の転換と「6 次産業化への取り組みをどう進めるか」(26 年 3/20)

2. ホームページを通じた情報発信

ホームページを順次更新し、研究会の活動報告を掲載した。

また、掲示板の設置、会員 JA リンク集を作成している。

会員 JA 一覧 (38JA。このほか 13 の個人会員・中央会・連合会会員)

JA 中札内村、JA 八戸、JA いわて中央、JA いわて花巻、JA 仙台、JA いしのまき、
JA あさひな、JA はが野、JA なす南、JA ふかや、JA 富里市、JA 市川市、JA あつ
ぎ、JA はだの、JA 横浜、JA 東京むさし、JA 塩尻市、JA 松本ハイランド、JA 新
潟市、JA 魚沼みなみ、JA ぎふ、JA ひだ、JA めぐみの、JA みっかび、JA なんすん、
JA あいち知多、JA 松阪、JA グリーン近江、JA いずも、JA 斐川町、JA えひめ南、
JA 徳島市、JA ふくおか八女、JA 筑紫、JA 福岡市、JA みい、JA あしきた、JA お
きなわ

(ホームページ アドレス <http://www.ja-hitodukuriken.jp/about/index.html>)

3. JA 人づくり通信の発行

毎回の研究会の内容を要約した「JA 人づくり通信」を発行し、会員への情報提供を行っ
た。(順次ホームページに掲載中)

なお、25 年 6/20 開催の「JA の組織、機能、人材育成とその配置、そして必勝体制は い
かにあるべきか」は冊子化している。

4. 役員の現状

代 表 (東京大学名誉教授) 今村 奈良臣

副代表 JA いわて花巻 専務理事 高橋 勉

JA 東京むさし 常務理事 麻生 昭夫

JA 安房 理事 仲野 隆三(JA 富里市 前常務理事)

JA 甘楽富岡 理事 黒澤 賢治(JA-IT 研究会 副 代 表)

監 事 JA はだの 組合長 古谷 茂男

平成 25 年度 収支決算

(2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日)

収入

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	摘 要
会費	200,000	20,000	
研究会参加費	2,400,000	1,045,000	
雑収入	0	102	利息
前年度繰越金	164,036	164,036	
合計	2,740,036	1,229,138	

支出

(単位：円)

勘定科目	予算額	決算額	摘 要
研究会費	2,250,000	754,700	
事務費	150,000	134,610	
役員会費	300,000	172,420	
予備費	64,036	0	
合計	2,740,036	1,061,730	

平成 25 年度差引残高 (次期繰越)

収入	1,229,138
支出	1,061,730
差引残高	167,408

監査報告 JA 人づくり研究会活動報告、収支決算書は、適正に作成されているものと認める。

2014 年 6 月 9 日

監事 古谷 茂男



平成 26 年度 活動計画 (案)

1. 研究会の開催

会員からの要望および、J Aにおける課題を考慮し、年 3 回程度の研究会を開催する。

第 20 回研究会 平成 26 年 6 月 19 日

第 21 回研究会 平成 26 年 11 月下旬または 12 月上旬

第 22 回研究会 平成 27 年 2 月中旬または 3 月上旬

2. ホームページを通じた情報発信

ホームページを開設し、研究会の活動報告を行う。

また、会員間の情報交換・交流を行うため、「掲示場」を設置し、情報交換、課題解決のヒントを得たりできるようにしているが、投稿が少ないので今後の活用が望まれる。

3. J A人づくり通信の発行

毎回の研究会の内容を要約した「JA 人づくり通信」を発行し、会員への情報提供を行う。

3. その他、本研究会の目的を達成するために必要な活動を行う。

平成 26 年度 収支予算(案)

収入

(単位：円)

勘定科目	予算額	摘要
会費	100,000	@20,000 円*5 人(会費は入会時のみ徴収する)
研究会参加費	1,800,000	研究会 3 回@15,000 円*40 人*3 回
雑収入	0	
前年度繰越金	167,408	
合計	2,067,408	

支出

(単位：円)

勘定科目	予算額	摘要
研究会費	1,500,000	研究会講師謝金・旅費@100,000 円*3 人*3 回 会場費@200,000 円*3 回
事務費	150,000	@20,000*12 ヶ月 ホームページ更新費用
役員会費	240,000	企画会議(三役)旅費等@8 万円*3 回
予備費	177,408	
合計	2,067,408	

役員の選出

JA 東京むさし・常務理事の麻生氏の役員退任に伴い、JA 横浜・常務理事 波多野 優氏をあらたに副代表として選任する。

また、福島大学特任教授の守友裕一氏を新たに副代表として選任する。

以上

JA 人づくり研究会の軌跡		
JA人づくり研究会は、平成 20 年7月の「第1回JA人づくり研究会」から、これまで19回の研究会を開催してきた。		
講演・実践報告テーマ一覧		
第1回 平成 20 年 7 月	①組織リーダー育成とナレッジマネジメントを通じた学び合う職場づくり	日本ナレッジマネジメント学会 理事長 森田松太郎 氏
	②我が養豚経営の自立の歩みと後継者育成	宮崎・JA尾鈴 前養豚部会長 遠藤威宣氏
	③地域 NO.1JA づくりと組合員主役の JA 運営,組合員教育活動	神奈川・JAはだの専務理事古 谷茂男 氏
	④働きがいと専門能力を磨く複線型人事とCDPの運用	兵庫・JA 兵庫六甲常務理事 前田憲成 氏
第2回 平成 20 年 11 月	①人材を育てる仕事づくり・職場づくり	全国農協食品株式会社代表 取締役社長 宮垣和正 氏
	②地域協同組合をめざすJAいずもの組織機構改革の狙いと課題	島根・JAいずも 代表理事専務 内田正二 氏
	③JA東京むさしの経営理念と人材育成戦略	東京・JA東京むさし 常務理事 麻生昭夫 氏
第3回 平成 21 年 2月	①JA田子町における組合運営と組合員の意識改革	青森・JA田子町 代表理事専 務 佐野房 氏
	②集落営農組織としての百世の組織化・運営とJAの役割と支援体制	福岡・JAふくおか八女 農畜産課長 下川茂利 氏
	③主体的・自主的な支所運営と組合員組織活動支援、職員育成の取り組み	福岡・JA福岡市 常務理事 青柳博 氏
	④JAあづみの組合員組織活動の活性化への取り組み	長野・JAあづみ 総務開発事業部福祉課 池田 陽子 氏
第4回 平成 21 年 5月	①JA甘楽富岡における組合員教育と参画型事業・運営の仕組みづくり	JA-IT研究会副代表 黒澤賢 治 氏
	②JAいわて中央における組合員主役の集落営農と農家組合の組織化と支援対策	JAいわて中央代表理事専務 熊谷健一 氏
	③みやぎ生協のメンバー(組合員)参加型の組織・事業運営	みやぎ生協 生活文化部長 小澤義春 氏

第1回 全国公開研究会 平成21年 8月 (第5回)	①地域における仕事興しと多様な人たちとの連携	長野・(株)田切農産代表取締役 紫芝勉 氏
	②仲間たちとの農業経営自立の歩みとJAへの期待	滋賀・(有)共同ファーム社長 今井敏 氏
	③JAいわて花巻における地域を支える女性組合委員の協同活動	岩手・ハヤチネフーズ(株) 参与 高橋テツ 氏
	④組合員が主役の協同組合運営	福井県民生活協同組合 組織ネットワーク本部 執行役員 統括部長 久島雅夫 氏
	⑤総合JAとしての支店を核とした分権型マネジメント組織づくりの歩み	福岡・JA福岡市 常務理事 青柳博 氏
第6回 平成21年 12月	①JAの総合力を発揮した農業経営支援への取り組み	JA全中 農業経営管理支援室 上級専門職 岩村洋 氏
	②総合ポイント制の展開とJAの果たすべき役割	長野・JA松本ハイランド 組合長 伊藤茂 氏
	③JAの総合性を発揮するための職場づくりと人材育成	福岡・JA糸島 組合長 松尾 照和 氏
	④大規模法人としてJAに望むこと	富山・サカタニ農産 代表理事 奥村一則 氏
第7回 平成21年 3月	①JA伊達みらいにおける産地づくりと組織づくり	福島・JA伊達みらい 常務理事 斉藤一郎 氏
	②ハトムギによる産地形成とJA主導の農商工連携	富山・JA氷見市 組合長 川上修 氏
	③女男共同参画によるJAの助けあい活動と仕事興し	高知・JAコスモス 福祉生活部 中村都子 氏
	④パルシステムの考える仕事興し	パルシステム生活協同組合連合会 セカンドリーグ支援室 吉村一正 氏
	⑤地域興しとJAの役割に向けたいくつかの提言	宇都宮大学 農学部 部長 守友裕一 氏
第8回 平成22年 7月	①地域を基盤とする日本型農場制農業の創造	石川・株式会社六星 会長 北村歩 氏
	②星野村のムラ興しの視点と実践	福岡・JAふくおか八女 前副組合長 末崎照男 氏

	③メディコ・ボリス構想と農村医科大学への実践課題	佐久総合病院 色平哲郎 氏
	④農業の新人革命	JA総合研究所 客員研究員 和泉真理 氏
	⑤中山間地域におけるコミュニティビジネスの創造	明治大学 教授 小田切徳美 氏
第9回 平成 22 年 10 月	①農畜産物直販ネットワークの構築とJAの取り組み	熊本・JAあしきた 総合直販部部长 木山優蔵 氏
	②組合員リーダー育成と地域農業の復権への取り組み	長野・信州きのこマイスター協 会理事長 (前JA中野市常務) 前澤憲雄 氏
	③ブランド確立のためのトップセールスと職員育成の取り組み	北海道・JA中札内 組合長 山本勝博 氏
	④地域興しに欠かせない女性パワーの活用とその方法	広島・広島世羅高原6次産業 ネットワーク コーディネーター 後由美子 氏
第10回 平成 23 年 2月	① 型合併JAの運営は組織力の強化から	岩手・JAいわて花巻 専務 高橋勉 氏
	②学習活動をベースにした組合員参加型共育・研修活動の実践	JA-IT研究会 副代表 黒澤賢治 氏
	③”地域と組合員”求められる人材	千葉・JA富里市 常務 仲野隆三 氏
	④JA教育活動の課題と「新たな協同を担う人づくり全国運動」の5つの柱	JA全中 教育企画課 課長 田村政司 氏
第11回 平成 23 年 8月	パネルディスカッション「女性の力で地域に風を」	コーディネーター JC 総研客員研究員 和泉真理 パネリスト JA 八戸・監事 佐野房 JA あづみ 池田陽子 JA いわて花巻・理事 高橋 テツ JA コスモス 中村都子

第12回 平成 23 年 12月	問題提起「無知の不安」と「未知の不安」をいかに「既知の安心」に変えるか	JA人づくり研究会 代表 今村 奈良臣
	JA富里市における放射能測定への対応と風評被害の克服	JA富里市 常務 仲野隆三
	風評被害にみずほ市場はいかに対処したか	株式会社 農業法人みずほ 代表取締役社長 長谷川 久 夫 同 生産研究部長 高橋 広樹
	東電福島原発事故による農畜産物の汚染とJA新ふくしまの対応	JA新ふくしま 代表理事専務 菅野 孝志
	パルシステムにおける福島原発事故汚染への対応	パルシステム生協連合会理事 長 山本 伸司
	放送現場から見た JA の震災対応と風評被害対策の課題	ラジオ福島・リポーター 川又 啓蔵 (JAそうま総代 茨城大 学修士課程在学中)
第13回 平成 24 年 2月	JAみっかびにおける産地形成と人材育成の展望	JAみっかび 専務 後藤 善一
	JA東京むさしの経営理念と人材育成の現状	JA東京むさし 常務 麻生 昭 夫
	JA梨北の事業改革と地域づくり・人材育成の現状	JA梨北 常務 仲澤 秀美
	JAみなみ信州における支所長責任制による地域活性化	JAみなみ信州 組合長 矢澤 輝海
第 14 回 平成 24 年 6 月	問題提起「コーディネート機能の必要性和そのための『人づくり』をどう進めるか」	JA人づくり研究会 副代表 仲 野 隆三
	「JAおきなわにおける事業展開と人づくりについて」	JAおきなわ 常務理事 普天 間 朝重
	「十勝におけるブランド戦略とネットワークづくり」 ーそのための人材育成の現状ー	十勝農業協同組合連合会 電算部長 高橋 敏
第 15 回 平成 24 年 12 月	「JAあいち中央における組織農業の展開と人づくりについて」	JAあいち中央 前常勤監事 安藤 義美
	「JAえひめ南の事業展開の現状と人づくり・危機管理」	JAえひめ南 組合長 黒田 義人
	「旭物産の事業内容と人づくりについて」 ー食材を活かす、女性の力を活かすー	旭物産 社長 林 正二

第 16 回 平成 25 年 3 月	「JAあつぎにおける農業復権の取り組みと人づくりについて」	Aあつぎ 代表理事組合長 井 萱 修己
	「農家レストラン (株)菜っちゃんの理念とJAに望むこと」	(株)菜っちゃん 代表取締役 後藤 典子
	「『次代へつなぐ協同』を担うJA人づくり」について	JA全中 教育部長 樋口 直 樹 (社)JA長野開発機構 地域開 発部 研究員 西井 賢悟
第 17 回 25 年 6/20	「JAの組織、機能、人材育成とその配置、そして必勝体制はいかにあるべきか」	JA人づくり研究会 代表(東京 大学名誉教授) 今村 奈良臣 JAいわて花巻 専務理事) 高 橋 勉 JA甘楽富岡理事) 黒澤 賢治
	「JAの組織、機能、人材育成とその配置、そして必勝体制はいかにあるべきか」	
	「大震災を乗り越えて」ー復興は相互扶助と農業振興からー	
第 18 回 25 年 12/5	「JAの総合力発揮を支える人材づくりと地域システム構築」	JA安房理事) 仲野 隆三 JA紀南 会長 中家 徹 世羅高原6次産業ネットワーク 事務局長 久保田 志穂
	「失敗しない六次産業化への取り組みをどう進めるか」	
	合併 JA における役員・職員の学びをどう仕掛けるか	
第 19 回 26 年 3/20	「JA紀南における6次産業化への取り組みの現状と課題」	JA大山町・組合長 矢羽田 正豪 JA全中 営農・農地総合対策 部 担い手・農地対策課 課長 田村 政司
	「世羅高原6次産業ネットワークの取り組みの経過と現状」	
	農業政策の転換と「6次産業化への取り組みをどう進めるか」	
第 19 回 26 年 3/20	「木の花ガルテンの生成・発展の戦略、戦術——人の配置、人の見つけ方、育て 方、使い方」	JA大山町・組合長 矢羽田 正豪 JA全中 営農・農地総合対策 部 担い手・農地対策課 課長 田村 政司
	「農政の大転換——新政策の論点」	